



THEY'S MEN'S CLUB OF FUJI-GOKO

創立 2003年3月12日 3041-1, UCHINO, OSHINO-MURA,
MINAMITSURU-GUN, YAMANASHI-KEN,
チャーターナイト 2003年5月10日 PHONE 0555-84-4233

2013年 富士五湖クラブ 10月プリテン 第108号

会長 須藤 繁
副会長 後藤明久
副会長 原 俊彦
書記 後藤昭子
会計 武藤五子
会計 望月喜代子
直前会長 望月 勉

国際会長：Poul V. Thomsen (デンマーク)

主題：「全ての世界に出て行こう」

アジア地域会長：岡野泰和 (大阪土佐堀)

主題：「未来を始めよう、今すぐに」

東日本区理事：渡辺喜代美

主題：「いざ立て」

あずさ部長：藤江喜美子

「心ひとつに、あずさ部号前進」

富士五湖クラブ会長：須藤 繁

『喜ぶ者と共に喜び、泣くものと共に泣こう。』

第11回富士山例会

10月5日(土)～6日(日)

於：富士山五合目 ‘佐藤小屋’

第1部 例会 PM3時15分～

- 1、開会点鐘 須藤 繁会長
- 2、ワイズソング&ワイズの信条
- 3、会長あいさつ 須藤 繁会長
小山憲彦会長
- 4、ゲスト紹介&参加クラブ紹介
- 5、ゲストあいさつ
藤江あずさ部長 (公式訪問)
- 6、入会式
- 7、Happy Birthday & Anniversary
- 8、諸報告
- 9、YMCAのうた
- 10、閉会点鐘 小山憲彦会長

準備の時間のおもてなし

望月支配人のセールストーク

記念写真

第2部 バーベキュー懇親会 PM5時15分～

第3部 星空の集い

10月6日(日)

早朝4時45分 御来光ウォーク (希望者)

AM7時30分～ 朝食

8時30分～ お楽しみ自然散策

(お中道～大沢崩れ)

PM1時～ 温泉&昼食(泉水/別料金)

PM2時30分～ 解散 お疲れ様でした！



忍野からの夕富士

今月のハッピーバースデーとアニバーサリー

- 10月2日 三浦洋美さん
10月10日 須藤 繁さん
10月23日 望月喜代子さん

おめでとうございます！

9月第1例会報告

2013年9月10日(火) 午後8時～9時30分

場所；富士吉田市ふれあいセンター

参加者；須藤、原2、後藤2+めぐみ、武藤+まき、三浦、長田、萱沼、望月(喜)

ゲスト；澤夫妻(原さん知人で、富士河口湖に別荘あり。イタリア料理教室仲間)

第1例会なので、開会点鐘から始まった。会長が遅れるということで、原副会長が代行して開会した。ワイズソング&ワイズの信条を唱和して、議事に入った。

① 富士山例会；当日午前オプションで、馬返しから佐藤小屋まで歩く。

京都プリンスの岡西夫妻、飯尾夫妻(前日は富士山 YMCA 宿泊)希望

三浦会員が同行希望。ガイドは小池会員+元ちゃん？。

後藤車で送る予定。ベル集合で時間調整する。

入会式；登山ガイドの元ちゃん(石田元志インダモトユキ)⇒区へ申請

部長公式訪問；藤江部長に打診中

お楽しみタイム；望月支配人のセールストークと実演販売

商品；富士山型クッキー(三浦)+ストラップ+バナナなど

ファンド用ストラップ(原)：表は富士山(写真後藤)・裏はワイズマーク

ハッピーバースデー・アニバーサリー；原20、小池10

昨年の反省時のビンゴ案；今回はしない。

2日目のオプション；大沢崩れツアー；望月不在で新入会員の元ちゃんガイド予定

料金；宿泊10000円、日帰り6000円。(昨年取り決め済み)

ゲート終了時間問題；全ての時間繰り上げは難しい。佐藤小屋主人に対

応依頼。

先発；望月2、原2、acco(望月車)
武藤+まき、長田(武藤車)；白須うどん

萱沼；夕方上がる(萱沼車)

登山組；岡西2、飯尾2、三浦、小池、元ちゃん？(後藤車)

ベル組；午後1時発で段取り(須藤車、後藤車)

下る車の配車を考える。下山；武藤・長田

当日夜、須藤・望月2日目朝

② フライングディスク大会；11/9(土) 8時スタッフ集合・設営

8:30 受付開始 9:00 開始(上野原などを考慮し、時間調整する)

開会式の流れて、ディスク体操、記念写真を撮る。

12:00～12:30 閉会式 昼食後、パインズパークの草刈り。

雨天時は、青少年センター赤い屋根に変更(三浦)、雨天時草刈り中止。

アキュラシーのみにして、午前中で終わる方向にする。

メダルは1～3位・富士五湖賞(原)、市長賞(望月)

メダル表彰時にお菓子を配る。ジュースは受付時配布。参加費は300円。

ボランティア保険に加入する(三浦)今回は、参加施設を増やす；案内状と

パンフ作成⇒案内状は全施設へ送る

案内状；今日持ってきた三浦原案を須藤会長が添削する。

9月のデータ

会員数	14名
例会出席	13名
例会出席率	93%
ニコニコBOX	3,630円
累計	3,630円

心を一つに あずさ部号発進

2013～2014 年度 第 17 回あずさ部部会

2013 年 9 月 21 日(土)11:30～15:30

東京 YMCA 山手コミュニティセンター

ホスト：東京たんぼぼ Y サービスセンター

参加者：須藤、望月(喜)、萱沼、後藤 2、後藤明久

朝 9 時前から後藤車で回って、一路東京へ向かいました。途中、事故渋滞 12km などに巻き込まれてしまい、会場入りしたのは 12 時過ぎで、第 1 部の終わりごろに到着。ちょうど東京 YMCA 廣田総主事の山中湖センター 90 周年事業についての話しの途中からでした。

第 2 部のわくわく歌の広場では、富士五湖クラブは全員が指名されるという名誉を頂きながら（^^）盛り上げに協力して、たのしく歌声の時間を過ごしました。歌詞の題名を選び、書いて提出して、その歌を歌っていく方式は、なかなか良い流れで良かったです。皆が一つになれる歌声の良さを演出していました。司会の越智さんは、ピアノの新都さんたちと共に被災地ボランティアに何度も行ったそうです。元気づけられた方も多かったと感謝されています。

終了後、記念撮影を行い、会場を 2 階に移していよいよ楽しみの懇親会に突入です。司会の小原さんより、ゲストと参加クラブの紹介があり、中澤さんのたんぼぼ流黙禱の食前感謝、久保田直前部長の乾杯で懇親会が始まりました。

たんぼぼは、料理には力を入れているという言葉通り、すしの握りから、各種の盛り合わせが豪華に並び、お酒も各種並んでいて美味しく頂きました。日本酒とノンアルコールビールがあったら、より満足でした（笑）。いっぱい食べて、短い時間でしたが十分な料理に満足でした。

2014/6/7 第 17 回東日本区大会のアピールでは、ホストの東京江東クラブを中心に渡辺喜代美理事の言葉もあり、一日開催で新鮮なのに懐かしい浅草での開催を紹介していました。

その次に指名された富士五湖クラブ(+東京サンライズ)の面々が前に出て、まず 10/5～6 第 11 回富士山例会のアピールを行いました。新人の萱沼さんが前面に出てアピールを行い、十分顔を売ってきました（^^）、共催の東京サンライズからの応援も貰い、佐藤小屋の楽しさを宣伝しました。10/5 午前オプションの浅間神社・馬返しから佐藤小屋まで歩く特別ツアーには長津さん、御園生さん、宮内さん、菰淵さんが歩くと宣言して、さらに小山憲彦さんが 10/5 誕生日宣言もでて参加者を募りました。持ち時間は無くなり、司会よりマイクを返してと言われましたが、拒否して第 4 回フライングディスク大会のアピールも行いました。こちらはパインズパークの遊歩道整備からの経過も説明しながら、障害者との交流とフライングディスクの良さを説明して、須藤会長が参加協力を募りました。

その後、12/14 松本クラブ 25 周年(第 15 回アジア賞授賞式)のアピールで懇親会が終了となり、YMCA の歌を唱和して、藤江部長の閉会点鐘で閉会となりました。追記ですが、懇親会の中で、萱沼さんが富士山例会とフライングディスク大会のカラーチラシを全員に配り、富士五湖クラブの元気さをアピールできたのは大収穫でした。

須藤会長より、藤江部長と金本 CS 事業主査には、フライングディスク大会の案内を直接渡し、今期のあずさ部 CS 補助金の申請書も提出しました。

元ちゃんの入会申込書も小山さん(区事務所)に渡し、相磯さん(区事業主任)からお

礼と激励の言葉を頂きました。富士山例会に出たいけれど、湘南沖縄部会が重なっているとの事でした。9月最終には東新部会もあり、この時はどこか当たるようですね。

部会終了後は、小山さん手配の伊丹亭で二次会となりました。サンライズ、富士五湖、江東、東京、グリーン、山手、武蔵野多摩など多彩なクラブの面々と懇親できました。美味しいまぐろやさつま揚げなど頂きながら、美味しい日本酒をガンガン飲む富士五湖の面々でした。十分飲んでお開きになり、帰ることになりました。

いつものことですが、新宿の人の多さと車の多さに驚かされます。首都高速初台の入り口閉鎖もあり、渋滞で時間がかかりました。談合坂で食事をとり、10時頃には全員自宅に戻りました。どうもお疲れ様でした。

須藤 繁

渋滞に巻き込まれて会場に着くのが遅くなったため、部会の開会式では、山中湖センター改修工事への協力のお願だけが耳に残っています。当クラブはすでに10万円を寄付していますので、心安らかに聞くことができたことは感謝ですが、これからもその原資になったクッキーファンドのために努力をしなければと思われました。第2部はわくわく歌の広場で、私たちが東日本区大会や富士山例会でやったことを思い出しましたが、さすが越智さんの指導ぶりは仕事柄か堂に入っており、伴奏の方も大変上手でした。当然わがクラブ員は全員得意の歌の希望を出して熱唱しました。意外にも、次期部長の田中さんが良く透るバリトンで歌い(何を歌ったかは忘れましたが)皆の拍手を受けていました。第3部の懇親会に

日本酒が出なかったのが玉に傷でしたが、我がクラブと同じように、ご馳走は豊富に準備しましたと越智さんが言っていました。なお、日本酒は2次会で飢えを満たしてきました。



萱沼一男

9月21日(土)初めて「あずさ部」の参加日、前日のメールを確認せずに30分程遅刻をしてしまい後藤車にて望月家を出発しました。中央道で会場に向かっていたが、途中渋滞に遭って山手YMCAに30分程遅れて会場入りしました。

初めての部会参加のため皆さんに就いていくのが精一杯でした。しかし部会後の親睦会では、富士五湖の10周年記念例会や山中湖ワークキャンプで出会った方々が出席していたので安心して参加が出来ました。

また、クラブのアピールタイムの時には須藤会長、後藤夫妻、望月さんと共に前に出て富士五湖クラブの10月5日(土)の第10回富士山定例会、11月9日(土)第4回フライングディスク大会の参加の呼び掛けをしました。

親睦会参加後には2次会にも参加し、親睦を深めることが出来ました。その後山梨へと帰途に着きました。(また、機会をつくり参加したいと思います。)

～トモエ館だより～

望月勉



富士山が世界文化遺産に登録され、初めての夏山シーズンが終了しました。私は6月18日入山、9月24日下山するまで、100日間富士山8合目3400mの山小屋で生活してきました。6月22日、ユネスコにより、富士山が文化遺産登録が決定した時、富士吉田市長は2ヶ月で40万人、山梨県知事も30万人以上の登山者が押し寄せると発表していましたが、結果は山梨県側だけでは、去年より14000人少ない232682人という発表でした。私も去年よりは10%程度は増加すると予想していましたが、大きく予想が外れました。山梨県はこの結果は ①富士スバルラインのマイカー規制を昨年倍の31日に拡大した事 ②弾丸登山をしないよう呼びかけた事 の2点だと発表していますが、私は7月上旬にいつもより10日程度早く梅雨が明けた事と、残雪がなく7月上旬だけに限ると去年の倍近く登山者が増加した事。この事を全国のマスコミが連日報道したためだと思っています。その為、今年富士登山を計画していたかなりの人が、来年以降に計画を変更したと思われる。世界文化遺産になって1番目についていた事は、アジアの登山者、それも若い女性が増加した事だと思います。すでにここ5、6年は山ガールという言葉が定着したように、登山者の主力は20、30代の女性でしたが、それがアジアの女性に波及してきたようです。行政は入山規制も必要と言っていますが、22、3万人でしたら、今までの取り組みで大丈夫だと思います。ただ私個人の意見は ①富士スバルラインのマイカー規制は静岡県側と同じ50日以上にする事 ②入山料は強制とし、1000円程度徴収す

る事 ③富士スバルラインは夜間閉鎖する事 の3点は必要だと思っています。それによって登山者は2ヶ月で20万人台前半になるはずで、それともう1点、9月も富士山は登山出来る事を、民間と行政できちんと話し合うべきです。それによって、7月15日～8月末までの登山者はさらに少なくなるはずで、来年以降に注目したいと思います。

9月第2例会報告

後藤明久

2013年9月27日午後8時～9時45分

場所：富士吉田市ふれあいセンター

参加者：須藤、萱沼、望月2、三浦、小池、元ちゃん、後藤2

議事：第11回富士山例会の詳細決定

集合場所の変更；BELLよりステキガスト駐車場に変更⇒参加者に連絡(acco)

5合目まで歩く隊：9時集合。後藤車で馬返しまで送る。

参加者：宮内2、菰渕、長津、長谷川、三浦、元ちゃんガイド

受付時：富士山クッキー、みぎわ商品を販売する。残りを実演販売に回す。

受付：原俊、長田、萱沼とする。

お祝い：10月ハッピーバースデー、10/5・6アニバーサリー

鉄板奉行：①元ちゃん・萱沼②小山・武藤③三浦(洋)・茅野・長田

プレゼント小物(小池10)、販売用富士山クッキー(三浦)、ファングッズ(原)

歌詞用セット台：望月

入会式：式文(後藤⇒須藤) 燭台：須藤 紹介者：望月(紹介内容)

立会人3～5：藤江部長、神谷書記、小山会長、渡辺隆次々期理事、宮内

式文、ろうそく、アルミ箔など(後藤)

入会式時間の為、設定時間を15～30分変更する⇒タイムキーパーがチェックする

第2部の乾杯：渡辺隆次々期理事(甲府)
タイムキーパー第1部：萱沼・長田 第2部：望月、長田
スピーチ：各クラブごとに前に出て、クラブ3分以内。一人参加は1分以内。
午後8時30分に日帰り組3台で一緒に下る(中の茶屋まで送る：佐藤保・望月)
飲み物：須藤、望月献品予定。ビール、ノンアル類等不足分は買い物隊
キャベツなすは佐藤小屋にある。肉：後藤担当。エビ100ホタテイカ：三浦
買い物隊：前日金曜日午後3時30分集合；望月喜、原淑、acco+参加できる方
車両：翌日下る車不足。小池車両を原担当(先発か13時発かは前日決定)
参加者名簿と車両、オプションは前日にメール配布する⇒各自プリントアウト
フライングディスク大会の打ち合わせ
須藤、三浦で打ち合わせして、各施設に回って勧誘する。来月予定。
望月同行予定。21部必要。原版：後藤作成⇒三浦へ
4クラブ合同例会打ち合わせ：28名参加予定。宿泊入場料16750円/名。
名神竜王インターに午後2時集合になった。
10/19(土)午前7時30分出発予定。新東名高速利用。
参加者：須藤、望月2、原2。検討中acco最後にニコニコをして解散となった。その後、時間を取れる人でサイゼに行って懇親を深めた。

東京山手クラブ・チャーター60周年例会
原 俊彦
東京山手ワイズメンズクラブが誕生したのは今から60年前・・・遙か昔の事ゆえ、その年が一体どんな年でどんな事が起こった年なのか？・・・例会当日配布された「60周年記念誌」を実に

興味深く読ませて頂きました。それによると、先ず「クラブが誕生した1953年は3年間に亘る朝鮮戦争が終わった年であり、独裁者スターリンがこの世を去った年」・・・とあります。書き出しの数行を読んだだけで、東京山手クラブが誕生した当時の厳しい時代背景の下、クラブ設立にかけた諸先輩方の並々ならぬ決意を窺い知ることができます。更に「チャーターされたその年にメンバーの皆さん達は、それぞれ何処で何をしていたのでしょうか?」・・・この問いかけとそこに寄せられた回答は、60年と言う年月が如何に遠い昔の事であり、それからの長〜い時の流れを感じさせるに十分でした。殆どの方を存じ上げているだけに、お一人お一人の顔が幼かった姿と共に目の前に浮かんで来て思わず笑ってしまいました。

9月28日(土)当日、午後1時からの第1部記念式典は、型通りのセレモニーの後、メンバーのお一人である飯島隆輔・城西教会牧師による奨励がありました。そして自他ともに「ワイキチ」と認めるたった一人のチャーターメンバーである奈良信ワイズが、万雷の拍手で迎えられ永年表彰されました。何時もの奈良節は、この日も健在でした。記念品は、これからも元気で例会に出席されるようにと「靴を購入するためのギフト券」でした。第2部の祝宴は、お元気な鈴木田裕子メンの司会、東日本区直前理事・駒田勝彦ワイズによる乾杯の音頭で軽快なジャズバンドの演奏の下、実に明るく和やかな雰囲気の中に始まりました。そして、美味しい料理に舌鼓を打った後、祝宴最後の締めは、司会の鈴木田メンによるメンバー紹介・・・山手クラブの出席メンバ

一全員が壇上に上がり、実にユーモラスで多少辛口のコメントと共にお一人お一人がスポットライトを浴びておりました。増野会長による閉会点鐘で予定通り 3 時半には閉会しましたが、終わってサンライズの小山さん達と久しぶりにお茶を飲みながら歓談しました。我がクラブからは、望月 2、原の合計 3 名出席でした。

富士山登頂



原淑子

香港で孫の 4 歳の誕生日会をお祝いし、その 2 日後の 9 月 19 日～20 日に富士山に登りました。昨年は、色々有って、参加出来なかったのですが、今年は、台風も前の週に行ってしまう、お腹も痛くならず・・・、登頂となりました。主人が黒 1 点、後は女性 5 人の 6 人でした。武蔵野多摩クラブの石丸さん姉妹、石丸さんのお友達で、NHK の歌のお姉さんもされ、今は歌でご活躍の大和田律子さん、八王子クラブの長谷川さん、主人、と私。ガイドは、八合目トモエ館の佐々木さん。佐々木さんは、ベテランガイドさんで、この方が居なかったら私は、とても無理でした。この夏の富士山は下から見ていても、雲で遮られた時が多く、快晴で全体の姿が見れる回数はそれほど多くなかったと思いますが、19 日は、お天気でしかもその夜は仲秋の名月でした。朝 9 時半に五合目の郵便ポストで待ち合わせをし

て、未だ元気な中にと、記念撮影をしました。そして、いざ出発！不安な中にも最初は、周りの景色を見れる余裕は有りましたが、6 合目を過ぎ、もう、締まっている山小屋に着く度に休憩を取って何とか持ち堪えました。そして 7 合目トモエ館(2,800m)に着いた時は、ここが頂上なら良いのになぁ・・・と、やっとの思いでした。頂いたお味噌汁でほっと一息。この 7 合目から 8 合目が結構長い道中で、傾斜も有り、足元もそれまでよりも岩場多く、高度も高くなって来たので、「深～い」深呼吸と、足元の注意で、かなりハードでした。

8 合目トモエ館は、見えていて、支配人の望月さんが、上から声を掛けて下さいましたが、中々着きません。意識も朦朧となる一歩手前で、夕方 6 時半頃にやっと 8 合目トモエ館(3,400m)に着きました。その時に頂いた、レモンティーは、「こんな美味しいレモンティーは、初めて!!!」でした。生き返りました。3,400m からの仲秋の満月は、月光が神々しい位でした。夜中の 2 時半起床、3 時 15 分頃トモエ館を出発です。この時期にしては、気温は、寒く無いとの事で、6 度でした。息がだんだん苦しくなるので、又、深呼吸をしながら真っ暗な中、一歩一歩足場を探しながら登りました。25 年位前にユングフラウヨッホの登山電車を降りた時に、力が入らず息が苦しくて座り込んでしまった事が有りました。高山病の軽いのがった様ですが、それが頭に有ったので、今回は、ずーっと深呼吸をしていたので、随分違いました。3,776m の富士山頂上に着いたのが、5 時半頃。ご来光に間に合いました。主人と私は、そこからご来光をずーっと見ていて、お鉢めぐりは、体力的に無理だったので、あきらめました。他の 4 人はお鉢めぐりに行き、そこからご来光を見ました。ご来光も何も遮るものも無く、素晴らしいご来光でした。トモエ館では、望

月さんやスタッフの方に色々お世話になりました。望月さんのお仕事振りも拝見しました。24 時間体制で、本当に大変です。8 月の真っ盛りの時は、200～300 人が利用する訳ですから、お世話も大変です。並大抵では出来ないと思いました。トモエ館のアンパンも頂き、9 時 15 分に下山しました。下りは上りとは違う道ですが、砂利道のようなので滑り易く一苦勞でした。(十苦勞位!) 何とか頑張って、午後 3 時にやっと 5 合目に着きました。ガイドの佐々木さんには、本当にお世話になりました。この後、佐々木さんは、ツアーのお客さんの後ろに付く為に、又、登って行きました。何でも、7 合目に着くまでには、追いつくとかスゴイ! 皆様お世話になりました。



富士山を見る度に感無量です。最初で最後の富士山登頂でした。

(俊彦メンの富士山記は次月号にお楽しみに!)

「あれやこれや」



武藤 五子

毎年、少し早めの紅葉を見ながら佐藤小屋に向かう富士山へのドライブを娘のマキと楽しみにしていました。不思議なことに、今年は雨が降る富士吉田を出たのに、五合目に向かう途中晴れ間も見られびっくりでした。例会の望月さんの卓話も楽しく聞かせもらいました。何とかバーベキューの時間には雨も上がり、煙りと格闘しながらお腹いっぱい肉やうどんを富士山の空気と一緒にいただきました。この富士山例会は私に秋を実感させて楽しい時間をくれました。来年はいい天気で、皆さんに会えるといいなと思いました。

《YMCA だより》

露木淳司<バザーに献品を!>

秋です。バザーの季節です。第 53 回となる今年は 11 月 3 日が日曜日ということで、クリスチャンの会員に配慮して、2 日の土曜日に変更しての開催となりました。9 月 19 日に YMCA にてバザー委員会が開かれ、多数の参加を賜りご協議いただきました。その中で、ここ数年のバザーの収益が下降気味であり、その最大の原因の一つにびっくり市の品不足があると指摘されました。お客さんがたくさん来ても、商品の絶対数が足りなければ収益にはつながりません。そこで、改めて皆様に献品のお願いをさせていただきます。ご家庭で眠っている品物、ご贈答品、古本、古着、どんな物でも構いません。品数が多い場合や大きな物はお家庭まで伺います。今年のバザーの収益は、ケアコミュニティづくり事業も用途先の一つとして加えることとなりました。幼子もお年寄りも共にケアし合えるコミュニティを作る・・・、今 YMCA では新しい将来構想を描いています。このバザーはその象徴とも言えるイベントです。11 月 2 日はご家族揃って YMCA にお出かけくださいますようお願い申し上げます。

これからの予定

10 月 5～6 日	第 11 回富士山例会	富士山 5 合目佐藤小屋
10 月 19～20 日	DBC4 クラブ合同例会	草津
10 月 25 日	10 月第 2 例会	ふれあいセンター
11 月 2 日	山梨 YMCA バザー (第 1 例会振替)	
11 月 9 日	第 4 回フライングディスク大会	富士パインズパーク
11 月 22 日	11 月第 2 例会	ふれあいセンター

当日ご協力頂ける
YSメンを募集中!
是非とも富士五湖
へお出かけ下さい。